

令和6年度 事業計画

1 ニュータウンの目標と重点課題

ニュータウンのまちづくりの目標である「住んで良かったと思える街 二俣川ニュータウン」の実現のために5つの重点課題を設定します。

- ①高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- ②子どもたちのふるさとづくりと子育てしやすいまちづくり
- ③安全で安心できるまちづくり
- ④貴重な自然である公園や並木道などの環境保全
- ⑤地域活動の新たな担い手の開拓とデジタル化の推進



2 各事業の行動計画

(1) ニュータウン地域の交流・ふるさとづくり事業

お祭りは住民の方々に元気を与え、地域への愛着を高める重要な事業です。今年度は長く続いた新型コロナウイルスの感染も落ち着いてきている一方、住民の高齢化等により担い手確保やノウハウ承継などに課題を抱えていることを踏まえ、運営に無理のない内容で実施していきたい。

- ①第47回運動会（中沢小校庭、5月25日土曜日、雨天時は26日に順延）
- ②第48回夏祭り（中沢小校庭、7月27日土曜日、雨天時は28日に順延）
- ③第39回マラソン大会（あきにれ公園、11月30日土曜日。雨天時は11月1日に順延）
- ④賀詞交歓会（町内会館、1月12日日曜日）

(2) 青少年育成事業

子どもたちの生き生きとした成長と地域への愛着を育てていくために、今年度は「子ども活動・行事支援部」の活動を一層強化するとともに、子どもたちの自主的な取り組みの支援を強化したい。

- ①新成人へのお祝い品贈呈（1月）
- ②新生児へのお祝い金贈呈（通年）
- ③学校・家庭・地域連携事業への参加
- ④スクールゾーン対策協議会への参加
- ⑤中沢小サポート基金・旭中サポート基金への参加
- ⑥併設型小中一貫推進への協力
- ⑦子ども会及び町内会の子ども事業への支援
（夏祭り子どもお神輿、お芋掘り、6年生卒業旅行など）
- ⑧旭中・中沢小学校ボランティア（CSC）活動への支援
- ⑨中沢小の子どもたちの自主活動の支援



(3) 地域福祉事業

80歳以上の住民が10人に一人になるなど、住民の高齢化が急速に進むニュータウンの住民がいつまでも安心して安心して暮らせるまちづくりと子育て世代が住みたくなる街づくりを一層進めたい。

- ①敬老のつどい（地区社協との共催：旭中体育館、9月28日土曜日）
- ②敬老お祝い品贈呈（9月配布）
- ③民生委員・児童委員の欠員補充など、地域による見守りの強化
- ④地区センター・地域ケアプラザとの協力
- ⑤買い物事情の改善（移動スーパーの実施日の増加、コンビニの誘致）
- ⑥神奈川県立よこはま看護専門学校との相互交流の推進

(4) 防災防犯事業

首都圏での大震災の発生が予測される現状を踏まえ、各ご家庭の耐震化・家具対策や備蓄対策（自助活動）と町内会による見守活動や地域防災拠点の避難場所運営訓練（共助活動）を一層強化にするために「防災部」の活動を推進します。

- ①防災関係団体の連携の強化
- ②ペット同行避難（同伴避難）のあり方の検討
- ③出前講座の実施
- ④災害時要援護者名簿の積極的活用推進
- ⑤「黄色い旗による安否確認訓練」の強化
- ⑥町内会による防犯カメラ設置への支援
（手続きのノウハウ支援）
- ⑦防犯パトロールの実施



(5) 環境整備事業

地球環境維持のために資源ごみ回収を一層推進するとともに、ニュータウンの魅力の一つである並木と公園の維持活動を進めます。

また、空家の増加による環境悪化と街の活気の低下を防止するために旭区役所等と連携して空家の流通促進を進めます。

- ①資源ごみ集団回収の推進
- ②並木の維持活動の支援
- ③公園愛護活動の支援（情報交換・交流の場の新設）
- ④空家の流通促進



(6) その他

① 連合町内会館の脱炭素化推進工事の実施

今年度の施設長寿命化・誰もが使いやすい施設化工事に引き続き、横浜市の「町内会館脱炭素化推進補助制度（令和6年度限り）」の新設に合わせて、ニュータウンでも会館の災害時の情報拠点化の推進も兼ねて、太陽光発電・蓄電池設置、窓の二重化工事、節電型エアコンの導入工事を推進したい。

② 連合町内会館の予約方法の改善

前年度に導入した新たな予約方法をさらに利用者に使いやすいよう改善を進めます。（年間予約制、料金後払い制の導入など）

③ 情報発信・情報収集の強化（臨時増刊広報紙の発行、デジタルアンケートの導入など）